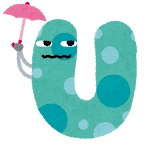
学習計画表：Program 7　If You Wish to See a Change



class( ) No.( ) Name( 　　 )

**１　単元の目標**

(1)　地球環境や社会に関する問題について自分なりの考えをもち、学習活動や単元ゴールのOutput活動に取り組もう。

(2)　動名詞、＜look＋形容詞＞、＜give＋人＋物＞を用いた文の構造を理解しよう。

(3)　セヴァンさんについての英文を読み、セヴァンさんが伝えたいことについて理解しよう。

(4) 地球環境や社会に関する問題についての自分の考えを、相手に分かりやすく説明することができるようになろう。

**２　単元ゴールのOutput活動**

「〇〇中地球環境サミット！」～環境や社会について自分の考えをスピーチしよう～

　セヴァン・カリス＝スズキさんは、12歳のときに「地球環境サミット」で「伝説のスピーチ」を行い、世界中の人々の心を動かしました。そこで、○○中でも地球環境サミットを開催し、環境や社会について一人一人スピーチをすることになりました。あなたが家や学校でできる身近なことについて、自分の考えをスピーチしましょう。

Program 7では、セヴァン・カリス＝スズキさんについての英文を読みながら、地球環境や社会に関する問題について考えていきます。最後には、セヴァンさんのスピーチの中で印象に残った文を選び、選んだ理由や自分の考えをスピーチします。これまで習った表現やProgram 7の新出文法などを用いて、聞く人にとって分かりやすく、心を打つようなスピーチができるよう工夫しましょう。

**３　帯活動**

(1) Basic Q & A

目標：新出文法を繰り返し練習し、短い対話のやり取りができるようになろう。

(2) Severn’s Speech



目標：セヴァンさんのスピーチを繰り返し読み、好きなフレーズを見つけよう。

先生方へ！

実際のセヴァンさんのスピーチを抜粋して生徒に配布しましょう。

**４　単元計画（全８時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な学習活動 | 振り返り　〇できるようになったこと  　　　　　★がんばりたいこと |
| 1 | (1) 本単元の見通しをもつ。  (2) 教師の発表モデルを聞き、単元ゴールを知る。  (3) 動名詞を使った文の構造を理解する。  (4) 動名詞を使い、自分の好きなことや得意なことを友達に説明する。  (5) 動名詞を使った会話を聞き、その内容を理解する。 | 〇    ★ |
| 2 | (1) 帯活動を行う。  (2) セヴァンさんのスピーチを聞く。  (3) セヴァンさんの業績や主張について理解する(p63)。  (4) 教科書本文の重要表現を確認する。  (5) 教科書本文を音読する。  (6) 教科書本文に関する問題に答える。また、本文の内容についてコメントする。 | 〇    ★ |
| 3 | (1) 帯活動を行う。  (2) ＜look＋形容詞＞を使った文の構造を理解する。  (3) ＜look＋形容詞＞を使い、人や物の様子や状態について友だちに説明する。  (4) ＜look＋形容詞＞を使った会話を聞き、その内容を理解する。 | 〇    ★ |
| 4 | (1) 帯活動を行う。  (2) 国際理解に関するセヴァンさんの主張について理解する(p65)。  (3) 教科書本文の重要表現を確認する。  (4) 教科書本文を音読する。  (5) 教科書本文に関する問題に答える。また、本文の内容についてコメントする。 | 〇    ★ |
| 5 | (1) 帯活動を行う。  (2) ＜give＋人＋物＞を使った文の構造を理解する。  (3) ＜give＋人＋物＞を使い、今まで誰かにプレゼントした物やされた物について友だちに説明する。  (4) ＜give＋人＋物＞を使った会話を聞き、その内容を理解する。 | 〇    ★ |
| 6 | (1) 帯活動を行う。  (2) 貧困問題に関するセヴァンさんの主張について理解する(p67)。  (3) 教科書本文の重要表現を確認する。  (4) 教科書本文を音読する。  (5) 教科書本文に関する問題に答える。また、本文の内容についてコメントする。 | 〇    ★ |
| 7 | (1) モデル原稿を知る。  (2) 「書くこと」に関するルーブリックを確認する。  (3) セヴァンさんのスピーチをもう一度聞く。  (4) セヴァンさんのスピーチの中で、印象に残ったフレーズを選ぶ。  (5) 選んだ理由や、地球環境や社会のために自分ができることについて、マッピングをする。  (6) マッピングをもとにスピーチ原稿を書く。 | 〇    ★ |
| 8 | (1) 発表モデルを聞く。  (2) 「話すこと（発表）」に関するルーブリックを確認する。  (3) スピーチの練習をする。  (4) ペアで発表し合い、互いに改善点をアドバイスする。  (5) 全体でスピーチを行う。  (6) ルーブリックで自己評価・相互評価を行う。  (7) 単元の振り返りを行う。 | 〇    ★ |